

# もも栽培情報第3号

令和2年4月22日  
富山県高岡農林振興センター

## ■ 1 概 況

本年の「あかつき」の満開は4月8日頃で、前年より7日、平年より6日早くなりました。計画的な管理作業を心掛け、高品質なもも生産に努めて下さい。

## ■ 2 病害虫防除

せん孔細菌病の春型枝病斑（芽枯れ・枝枯れ）は重要な感染源となりますので、見つけ次第切除し、園外に持ち出して適切に処分して下さい。また、防風ネットが整備されている園では、早急にネットを展張して下さい。

◎せん孔細菌病の感染拡大を防ぐために大変重要な作業なので徹底しましょう！

時期	対象病害虫	散布薬剤名	希釈 倍数	100L 当 薬剤量	10a 当 散布量	防除 実施日
4/29 ~5/1	灰星病、黒星病 せん孔細菌病	ベルコート水和剤 バリダシン液剤5	2,000倍 500倍	50g 200cc	350L	
5/9 ~11	せん孔細菌病、黒星病、縮葉病、灰星病 モモハゲリガ、アブラムシ類、シクイムシ 類、コガムシ類	トレノックスフロアブル モスピラン顆粒水溶剤	500倍 4,000倍	200cc 25g	400L	
5/19 ~21	せん孔細菌病、黒星病、縮葉病、灰星病 モモハゲリガ、アブラムシ類、シクイムシ 類、コガムシ類	トレノックスフロアブル サイアノックス水和剤	500倍 1,000倍	200cc 100g	400L	

※デランフロアブルの在庫がある場合は、4/29~5/1の防除をデランフロアブル（600倍、収穫7日前まで、年4回以内）単剤散布に変更して下さい。

※カイガラムシ類の発生が目立つ場合は、5/9~11のモスピラン顆粒水溶剤を2,000倍で散布して下さい。また、5/19~21の防除にアプロードフロアブル（1,000倍、収穫14日前まで、年3回以内）を加用して下さい。

※散布薬剤は、掛けムラがないようにていねいに十分量を散布して下さい。

※園外への飛散や他作物への飛散が無いように、注意して散布して下さい。

※農薬の使用前には必ずラベルを確認して下さい。

### 【コスカシバ対策】

- ・ 4月下旬にガットサイドS（1.5倍、収穫30日前まで、年1回まで）を樹幹部および主枝に塗布して下さい。
- ・ コスカシバの幼虫が食入していると幹からヤニや茶色の木くずが出ます（写真1）。ナイフなどで削り出し、中の幼虫を捕殺して下さい。



写真1 幹のヤニ・木くず（左）とコスカシバの幼虫（右）

### ■ 3 摘果作業について

作業遅れとならないよう計画的に実施して下さい。また、主枝、亜主枝先端部の摘果を徹底し、新梢伸長を促進して下さい。

#### 【予備摘果】

○実施時期：4月28日～5月8日頃（満開20～30日後）

→不受精果の発生に注意し、結実が確認できた後に作業を開始して下さい！

○摘果程度

結果枝（長さ）	着果数
短果枝（10 cm未満）	1本に1果
中果枝（10～30 cm）	1本に2～3果
長果枝（30～50 cm）	1本に4～5果
極長果枝（50 cm以上）	1本に6～7果

#### 【仕上げ摘果】

○実施時期：5月18日～5月28日頃（満開40～50日後）

→硬核開始前までに必ず完了させましょう！！

○摘果程度

結果枝（長さ）	着果数
短果枝（10 cm未満）	3～4本に1果
中果枝（10～30 cm）	1～2本に1果
長果枝（30～50 cm）	1本に2～3果
極長果枝（50 cm以上）	1本に4～5果

### ■ 4 かん水について

高温・乾燥が続く場合は、土壌の過乾燥による初期生育の遅延や、その後の降雨による生理落果の多発等を防止するため、積極的にかん水を実施して下さい。

### ■ 5 新梢管理について



写真2 骨格枝基部から発生した新梢

骨格枝基部等から発生した強勢な新梢（写真2）は早めに芽かき、切除等を行い、樹形の維持を図って下さい。また、若木では主枝延長枝の伸長を促進するため、競合する枝や基部からの強勢な枝は早めに芽かき、切除、摘心を行って下さい。

ただし、過度な新梢管理は樹勢の低下を招くため、成木や樹勢が弱い樹では必要最小限の実施にとどめましょう。

お問い合わせ：富山県高岡農林振興センター  
担い手支援課園芸振興班  
担当 濱谷 TEL26-8476